



代表取締役社長

長妻 貴嗣

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第38期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)年次報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社の主たる取引先である建設業界は、公共工事の削減が継続し、市場全体としては低調に推移したものの、民間設備投資は依然として活発であることから、当社の主要顧客先である大手ゼネコンを中心に建設受注は増加傾向の状況で推移しました。このような状況のもと、当社では、生産ラインの増強や物流システムの効率化に努め、旺盛な顧客需要に対応するとともに、ユニットハウスの展示販売を行うスペースナビの不採算店舗の統廃合などによる経費削減に努め、経営体質の一段の強化に努めてまいりました。

以上の結果、当期の売上高は、17,446百万円(前期比0.2%減)、営業利益は1,389百万円(前期比12.6%増)、経常利益は1,260百万円(前期比10.1%増)、当期純利益は668百万円(前期比38.0%増)となりました。

今後につきましては、現在の主力事業である仮設ユニットハウスのレンタルにおいて、さらなるシェアの拡大に努めるとともに、ユニットハウスの新たな需要先の開拓に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成19年6月